

沖繩作戰
ニ於ケル
獨立機關銃第三大隊史實資料

昭和三十三年三月十五日
第三十二軍業務整理部

部隊履歴ノ概要

昭和十九年九月十四日部隊編成完了於野砲兵第四聯隊

昭和十九年七月一日第四師團長、命ニ依リ対空射撃部隊トナリ

大阪地区ノ防衛ニツク

昭和十九年九月十四日鹿見島港出帆大隊長輸送指揮官(實来丸)

大隊副官輸送副官第一中隊長警備副司令(警備司令(ⅢMGS長))

大隊(ⅢMGS)ト共對空對空監視ノ任務ニツク昭和十九年九月十八日

那霸港上陸第三軍司令部官ノ煉下ニ入ラシメラレオニ第四師團既属

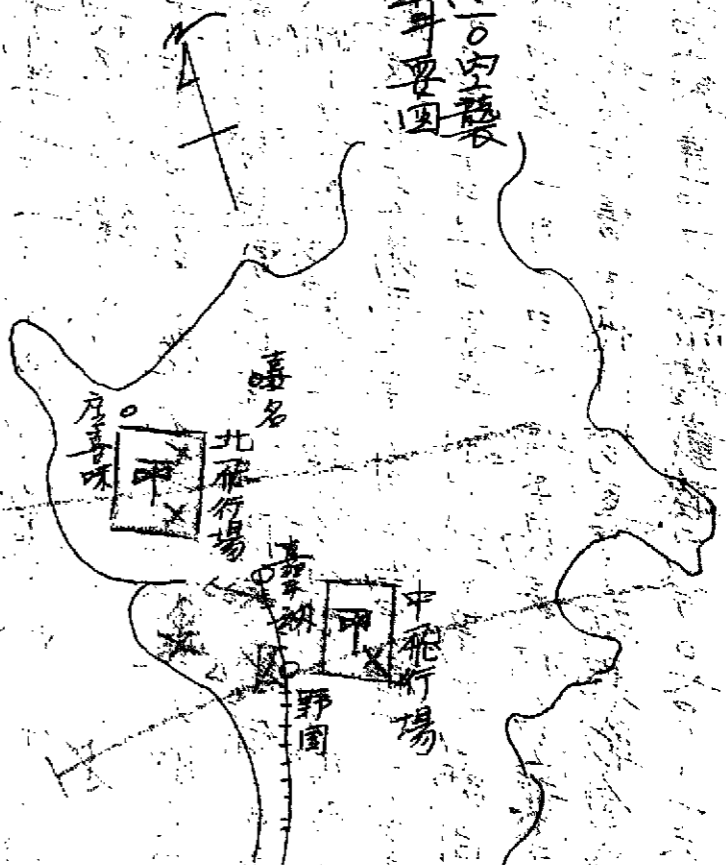
昭和十九年十月二日嘉手納ニ到リ第三師團長ノ指揮下ニ入ル

昭和十九年十月十日沖繩本島最初ノ空襲ヲ受ケ大隊ハ全クテ

東ヨリ北飛行場中飛行場嘉手納野戦倉庫ヲ爆撃スル敵機ヲ

ニ對空射撃ヲナス敵艦載機ヲテロウゴロ一六〇延八機

河内空襲
戦中要図



凡例
 ○ 野戦倉庫
 × 爆弾

昭和十九年十月十五日

第三四師団、命ニヨリ ⅢMGs (23) 八歩兵第三十二聯隊ニ配属、尾張国頭郡

恩納村、山田ニ到リ陣地ヲ構築ス

Ⅰ) ⅢMGs 八歩兵第八十九聯隊ニ配属、中頭郡其志川ニ於テ陣地ヲ

構築ス Ⅱ) ⅢMGs 八歩兵第三十二聯隊、中頭郡野園(喜平納原カ一軒)

ニアリテ喜平納西海岸正面ヨリ上陸ヲ豫期スル敵ニ対シ陣地ヲ

構築ス Ⅲ) ⅢMGs 八歩兵第三十二聯隊ニ配属、中頭郡喜味ニ於テ陣

地ヲ構築ス Ⅳ) 昭和十九年十月七日、第三四師団命令ニヨリ

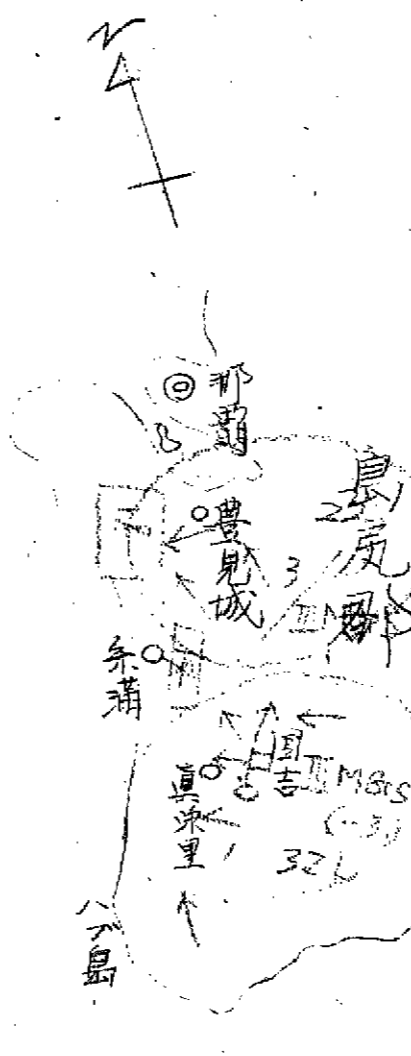
系滿一喜屋武正面ヨリ上陸スル敵ニ対シ陣地ヲ構築ス

ⅢMGs 八歩兵第三十二聯隊ニ配属、島尻郡豊見城村ニ在リ小孫

ⅢMGs 八歩兵第三十二聯隊ニ配属、島尻郡豊見城村ニ在リ小孫

正面ヨリ上陸ヲ豫期スル敵ニ対シ陣地ヲ構築ス

昭和二十年三月二十三日敵艦載機延約三〇〇機ヲ以テ熾烈ニナル
 爆撃銃車ヲナス大隊ハ國吉台地ノ杭道陣地ニ入り陣地ノ
 強化ヲ續行ス三月二十四日〇七〇〇頃ヨリ敵ハ艦砲射撃ヲナス
 大隊ハ戦斗準備ヲ周到ニシ晝夜陣地ノ強化ニ勉ム
 第三十三軍司令官ヨリ甲號戦備下令セラレ
 敵情監視ヲ嚴ニシ陣地ノ強化戦斗態勢ヲトル



三月二十三日第一師団司令部ニ依リ

III MS (23) 八歩兵第三十三聯隊 八第三十三聯隊

III MS (23) 八第一九聯隊ニ又々既ニ島尻郡ヨリニ三日薄暮ヨリ行軍ヲ開始シ百里前線ニ進出ス

五月四日拂曉ヨリ第三十三軍總司令部ヨリ總攻撃ヲ敢行スルコトヲ各中隊長各聯隊長ノ指揮下ヨリテ各戦斗ニ参加ス

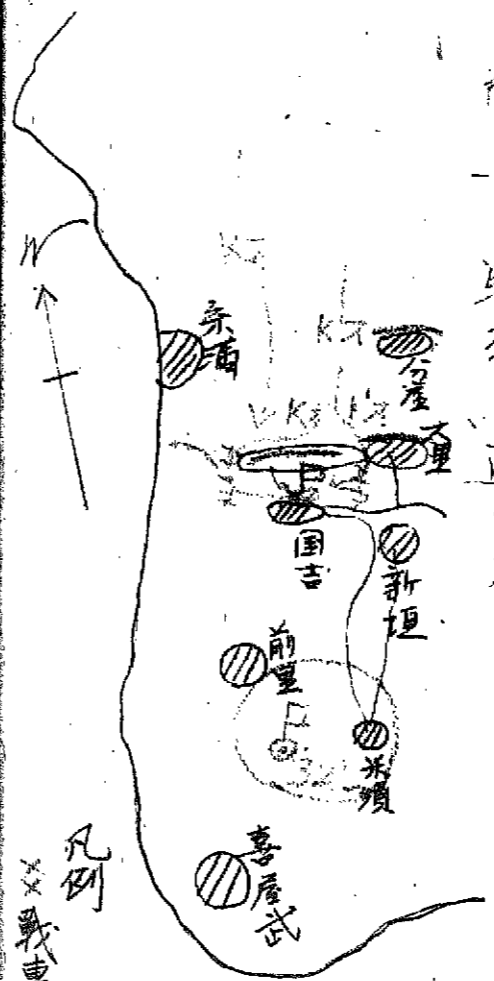
IV MS (23) 八首里北ヨリ前田部落ニ向テ 八彈玉森ヨリハ波津ニ向フ

III MS (23) 八首里東ヨリ幸地ニ向テ 八彈玉森ヨリハ波津ニ向フ

首里東西線ニ於テ防衛ヲナス

三月二十日以後各聯隊ニ共ニ逐次格杭シツ島尻南部夜襲ヲ六月十日各中隊ハ蘇滿國吉大里嶼庄ノ線ヲ於テ最後ノ防衛ヲス

第三師團命令ヲ獨立機關銃第三大隊ハ解散方大隊長
 八第二三聯隊第二大隊長ト本部第一中隊ト共ニ固言陣地
 二於テ最後ハ槍杭ヲテ敵ノ侵勢ヲ九部隊ニ對シテ
 戰車地雷内攻ヲ以テ或ハ手榴彈投擲斬込等ヲテ手段ヲ盡
 三敵トテ第一中隊第三中隊ニ步兵第三二聯隊步兵第九
 聯隊ニ又ハ既屬其戰三ニ協力ス
 六月十八日大隊長ハ全力ヲ率テ夜間最後ノ斬込内薄ヲ敢
 行ニ全員壯烈ニ戦死ヲ遂ゲタリ



凡例
 × 戰車地雷

部隊略歴

獨立機關銃第三大隊

(陸軍少尉 上田恒夫)

昭和十八年六月二十一日大阪野砲兵第四聯隊ニ於テ編成完結
 昭和十八年九月十四日大阪砲兵隊同年九月二十二日鹿児島出陣
 同年九月二十八日那覇港上陸第三二軍ノ轄下ニ入りテ四師
 團ニ配屬セラレ津繩本島ノ防衛ニ服ス
 部隊中 步兵第三二聯隊ニ
 步兵第三二聯隊ニ
 搜索第三四聯隊ニ
 部隊戰鬥經過概要
 (陸軍少尉 上田恒夫)
 昭和十八年三月ヲ留甲号戰備下令當時部隊ハ第三四師團指揮
 下ニ在リ第一中隊及本部步兵第三二聯隊ニ配屬テ浦南部隊

大軍國吉ノ線ニアリ独立工兵六十六大隊ノ下中隊ヲ配屬セシ同地
ノ防備ニ第ニ中隊ハ步兵第ニ三聯隊ニ第ニ中隊ハ步兵第十九
聯隊ニ配屬セラレシレノ戦備ニ嚴ス同年四月ニ三日首里北才
ノ線ニ轉進 五月四日軍ノ攻襲ニ當リ各步兵聯隊ト共ニ前田ニ攻襲
前進ス爾後各部隊ノ第一線大隊ニ協力ニ戦事ヲナス

五月二十九日軍ハ首里ノ線ヲ捨テ後退スルニ當リ部隊ハ之ヲ援後ヲ
命セラレ首里北才高地ニ於テ六月一日迄激戦ヲ續行

六月五日國吉ニ後退ニ國吉眞壁ノ線ヲ死守
(大隊長ハ歩兵才ニ三聯隊ノ才ニ大隊長トス)

六月二十日以降ノ遊軍戦
八月二十九日勅令ニヨリ米軍ノ指示ヲ受ク